



救急救命士との勉強会

足掛け7年間 勉強会開催数60回達成
～ 継続は、力なり!～



副院長
柳澤 肇

須藤病院では、平成10年6月より高崎等広域消防組合の救急救命士との勉強会を毎月一回開催してきました。この勉強会は、高崎消防署長の依頼に対し、須藤英仁院長先生の快諾により、当地域を担当する救急救命士（約30名）の医学知識のレベル向上と基本的疾病の病態生理の理解を深める目的で開催されています。講師は、私を中心に、須藤病院常勤医を講師としています。

平成17年8月28日の勉強会で足掛け7年60回の勉強会を開催しました。この勉強会を開催することは、須藤病院が、地域密着型の医療を行い、今後の当地区の救急医療の担い手と地域医療を行う上で重要なことと考えています。

特に近年、救急救命士の病院前処置の重要性が一般に認識されています。このことを踏まえ、この勉強会では、救急救命士が抱える患者搬送時の疑問点や搬送患者の処置などを中心に、実践的な勉強

してきました。救急関係はもちろんのこと、その時のトピック的な話題となっている整形外科、脳外科、感染予防、小児科、婦人科、防災（トリアージ）など多岐にわたって講義を行ってきました。

この勉強会を通じて、救急救命士との親密な関係構築により、患者情報や指示の受け渡しなどスムーズに行えるようになっていきます。このことにより、確実な救命処置を指示することができ、患者救命の向上につながると確信しています。さらにこの勉強会が継続されるように、関係各位のご協力のほどよろしくお願いいたします。



保注の確路静脈
すりのめたの
取り針を刺す
に練習に
組む救命士



が命確のを習
な救道め管形練
さ、気た挿人て
番にがの管擬つて
本ら士保気模使し

平成17年10月から、介護保健施設などの利用料が変わります。

平成12年の開始以来、介護保険は、皆様の老後の生活を支える制度として定着してきました。

一方で、給付される費用は年々増大し、約7兆円（スタート時の2倍）に達する勢いです。持続可能な制度のためには、給付の効率化・重点化が必要となってきました。

また、どこで介護をされても、給付と負担が公平となくてはなりません。在宅で介護されている場合は、居住費（家賃・光熱費）や食費は本人が負担しているのに対し、施設で介護されている場合は、これらの費用は保険から給付されていました。（グループホームやケアハウスは現在でも、居住費・食費は利用者が負担しています）

そこで、同じ介護度であれば、在宅でも施設でも給付と負担が公平となるよう「介護」に要する費用を重点化し、「居住」や「食事」に要する費用をご自身で

支払う事となります。

しかし、施設利用者の方の負担が増大することは事実で、国の方針とは言え、スタッフ一同心苦しく感じています。

反面、日常生活のなかの「食する」「住まう」という事を改めて見直す機会が与えられた気がします。

昔から「人間、食べられなくなったらおしまい」などと言われてきましたが、身体状況に合わせた調理法で補える事も多くあります。

ただ、「見た目」で味わい、「舌」で味わい、「喉越し」で味わう事が食の本来の姿ではないでしょうか。何とか、食事を楽しんでいただけるよう努力していきます。

そして、日々の流れで「住まう」環境整備を重視し、心地よい時間が過ごせることを目指したいと考えています。利用者・ご家族さまの期待に沿うようなサービスを提供させていただきます。

その他、当院では在宅介護での介護の不安を減らしていただく為に「訪問看護」「ヘルパー」「訪問リハビリ」等、必要なサービスを取り揃えております。

アンケート調査の結果報告と今後の課題

7月14日から2週間にわたり、サービス向上のため、皆様にアンケート調査をお願いいたしました。ご協力ありがとうございました。皆様の貴重なご意見・苦情等に対する回答を紹介させていただきます。

個人情報保護法に関連して

アンケートでは、名前を呼ばれたくないとのご要望がありました。この件につきましては、名前での呼び出しを希望しない方は、受付時にお申し出ください。申し出された方につきましては院内全てにおきまして受付時の番号でお呼びするようにいたします。

感染症が怖い

待合で待っている際、感染症が怖いとのご意見がありました。この件につきましては、受付にマスクの用意がしてありますので、受付時に疑いがある方につきましては、マスクをしていただくことで対応させていただきます。今後の課題として別の待合室を検討していきます。

看護師の対応に関して

外来看護師の対応が悪い。病棟ナースセンターの看護

師の態度や言葉使いがぞんざいになっている。との苦情があり、もう少し親切な対応・言葉使いをお願いしたいとのご意見がありました。スタッフ一同このような苦情のでないよう、日頃から注意してまいりたいと思います。

受付待ち時間に関して

受付から診察までが長いと感じる。予約の場合は特に注意して時間を守ってほしいとのご意見がありました。診察・診療の時間は、その時々のお客様の状態や程度によって変わり、正確に決まっているわけではありませんが、貴重なご意見として、特に心掛けてまいります。ご要望にそえない場合もございますので、ご理解ご協力のほど宜しくお願いします。

薬の待ち時間に関して

薬をお渡しする時間が長いとの苦情がございました。投薬につきましては、特に注意を払って確認をし、誤った薬をお渡しすることのないようにしております。

また薬剤の服用方法などについて説明のため時間が掛かることがあります。患者様の安全を第一と心掛けておりますのでご理解いただきますようお願いいたします。

皆様の貴重なご意見・ご要望をいただき、これからもよりいっそう満足いただける病院を目指してまいりたいと思っております。今後ともご協力お願い申し上げます。